

## 学校努力点テーマ 「育てよう生き生きと学ぶ松原っ子」

— よく知ること よく考えること よく表現することを通して —

※ 今年度は、「考えが深められるように」授業実践に取り組みます。

### 3年 国語科「のらねこ」の実践

登場人物の気持ちの移り変わりについて考えました。登場人物の会話や行動、気持ちを表す言葉などをもとに話し合い、登場人物の性格を具体的に想像することができるようになりました。

#### ○ よく考えるための手だて

##### ① 自分の考えをもつことができるように

登場人物の言葉や行動をまとめた表をつくり、登場人物の気持ちについて考えやすくしました。また、役割演技をすることで、登場人物の気持ちを具体的に想像させました。

##### ② 対話をして、考えが深められるように

のらねこの気持ちを想像して、グループで話し合いました。その際、**自分の考え、グループで話し合った後の考え、学級全体で話し合った後の考えを、三段階に分けてワークシートに書きました。話し合ったことを分かりやすく板書し、様々な意見を共有できるようにしました。**

#### ○ 授業の様子（アンダーライン：今後の課題）

授業の始めに、これまでに読み取ってきた、物語の登場人物である「のらねこ」や「リョウ」の気持ちの移り変わりを確認しました。

そして、「のらねこ」と「リョウ」の役になって、教師の音読に合わせてせりふを言ったり動いたりする役割演技をした後、「リョウ」になでられた「のらねこ」の気持ちを想像しました。



【ペアで役割演技をする様子】

#### 【子どもが考えたのらねこの気持ち】

- ・ なでられるって気持ちいいな。
- ・ 心がぼかぼかしてくる。
- ・ 初めてなでられるから、ちょっとこわいような・・・。
- ・ ドキドキするなあ。

その後、屋根の上の「のらねこ」の気持ちについて、自分で考えた後、グループで話し合い、さらに、学級全体で話し合いました。「リョウにもっとかわいがられたかったな」といった、さらに考えを深めた意見が出されました。

今後は、出された意見に色を付けたり、意見を分類したりして板書をして、それぞれの考えを比較しやすくしたり、学級全体で共有できるようにしたりして、考えを深められるようにしたいと思います。



【グループで話し合う様子】